

2025年10月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社AB & Company

(証券コード：9251)

会社概要

代表取締役



市瀬 一浩

2003年に山野美容専門学校を卒業後、青山の美容室にてスタイリストとして勤務を開始。低賃金・長時間労働が常態化する美容室業界に疑問を抱き、業界変革を目指して2009年に独立、創業。

企業理念

「スタイリストファースト」を信念にお客さまに幸せと喜びを提供します

美容室業界の課題であるスタイリストの長時間労働、低賃金、高離職率を是正し新たなキャリアデザインを創造することでスタイリスト自身の喜びに繋げることがより良いサービスの提供、延いてはその先のお客様の幸せに繋がると考えます。

事業概要

HAIR SALON
Agu.

直営美容室運営
事業



直営店舗の
運営

フランチャイズ
事業



FC店舗の
運営サポート

インテリアデザイン
事業



美容室を中心とした
店舗デザイン、設計、施工

2025年10月期1Q 連結サマリ（前期比）

- ・売上収益：前期比+8.2%、営業利益：前期比+8.6%と堅調に推移
- ・インボイス制度導入の影響（経過措置適用）は一巡したため、同条件下での比較

（単位：百万円）

	1Q				
	2024/10期		2025/10期		前期比
	実績	売上収益対比	実績	売上収益対比	
売上収益	4,190	-	4,535	-	8.2%
売上原価	2,210	52.8%	2,394	52.8%	8.3%
売上総利益	1,979	47.2%	2,140	47.2%	8.1%
販売費	1,653	39.5%	1,814	40.0%	9.7%
その他収益	12	0.3%	40	0.9%	220.3%
その他費用	3	0.1%	2	0.1%	▲18.4%
営業利益	335	8.0%	364	8.0%	8.6%
当期利益	213	5.1%	212	4.7%	▲0.5%
当期利益（調整後）※1	198	4.7%	212	4.7%	7.4%
EBITDA（調整後）※2	488	11.7%	517	11.4%	6.1%

※1：当期利益（調整後）は当期利益に対して2024/10期におけるイレギュラーな戻し入れ（+15百万円）を調整

※2：EBITDA（調整後）はEBITDAから「使用権資産の減価償却費」を差し引いて算出（使用権資産の減価償却費は実質的な家賃に相当するため）

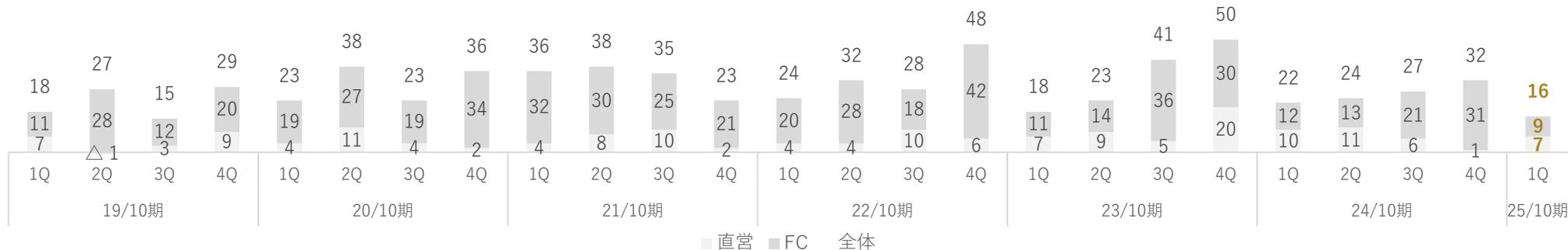
国内店舗数 推移

直営・FC合わせて16店舗の店舗純増

店舗数



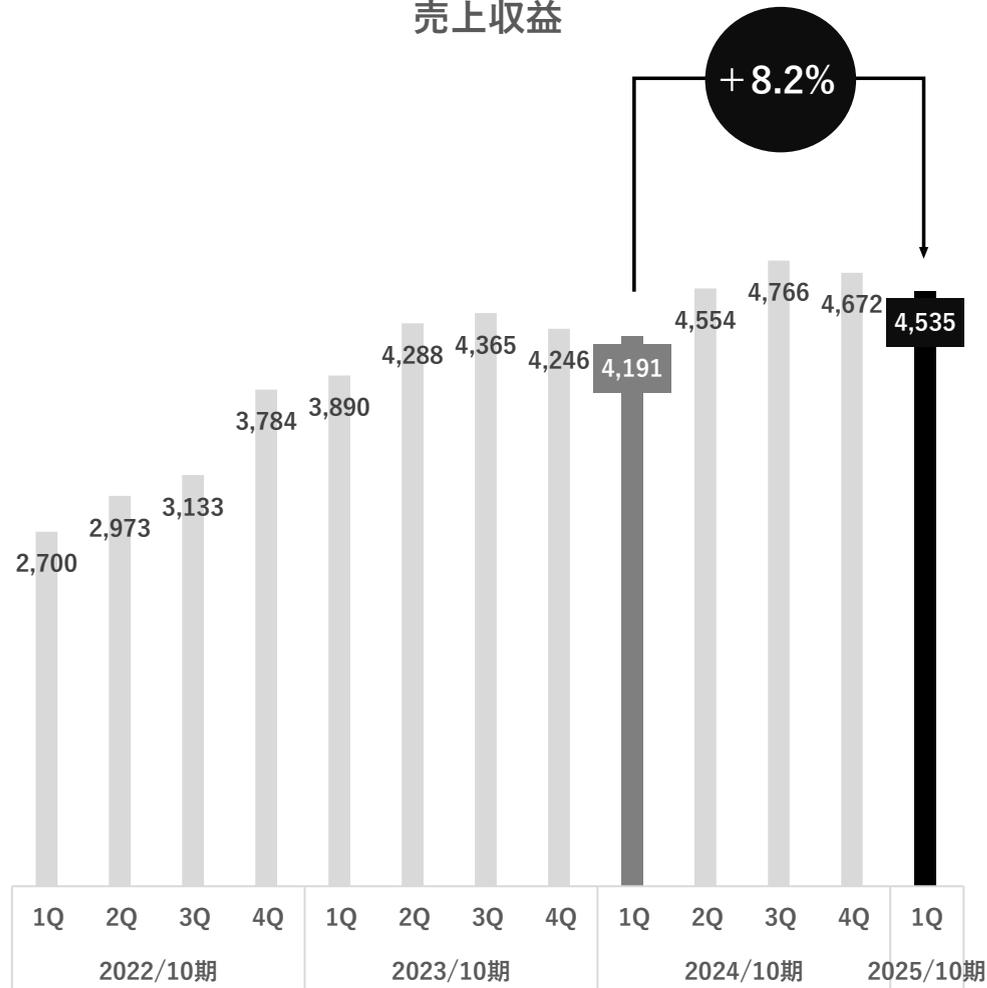
店舗純増数



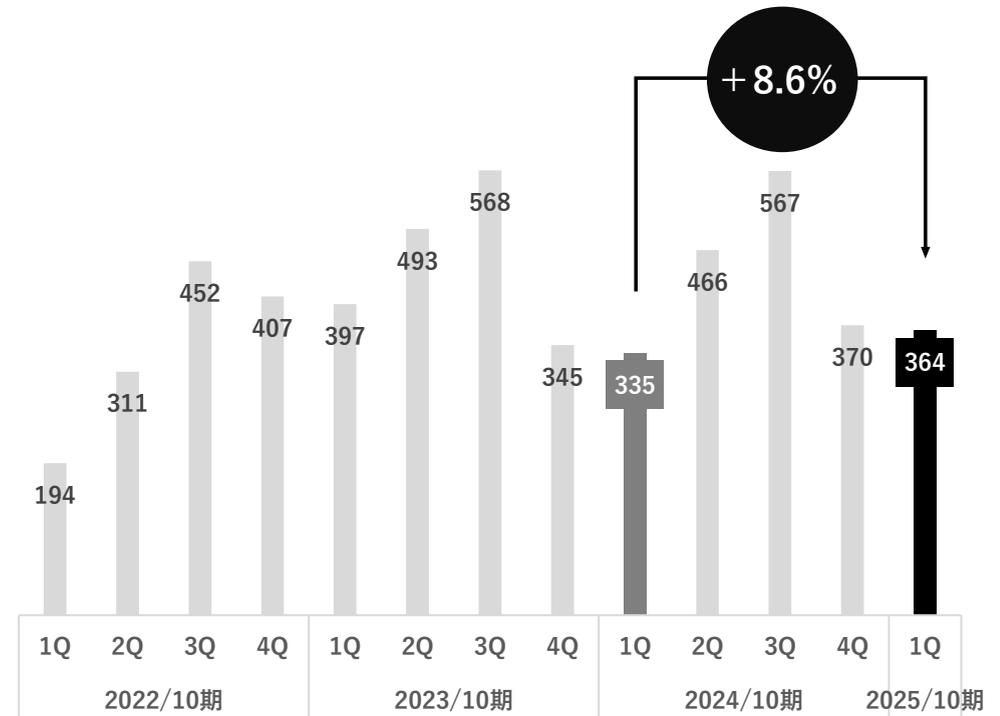
四半期実績推移

(単位：百万円)

売上収益



営業利益



2025年10月期 通期計画対比進捗率

概ね前年と同水準の進捗率で推移

(単位：百万円)

			2025年10月期 通期計画
売上収益	4,535百万円	22.7% (23.0%)	19,939百万円
営業利益	364百万円	17.6% (19.3%)	2,070百万円
税引前当期利益	322百万円	16.8% (18.6%)	1,920百万円
当期利益	212百万円	16.8% (19.8%)	1,261百万円

店舗売上KPI 実績推移 (1Qベース)

- 顧客単価の前年比伸長が顕著 (直営:+3.4%、FC:+4.6%)
- メニュー (施術内容、単価) の見直しを部分的に実施することで平均顧客単価が上昇

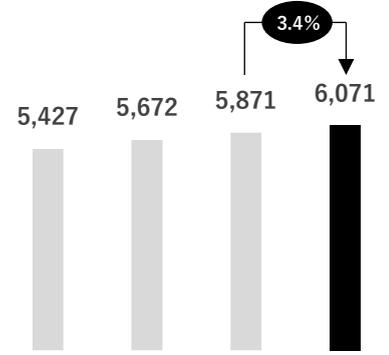
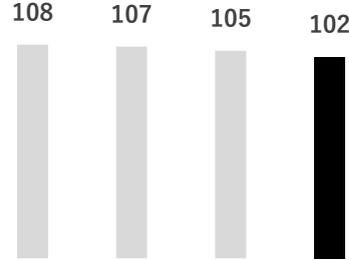
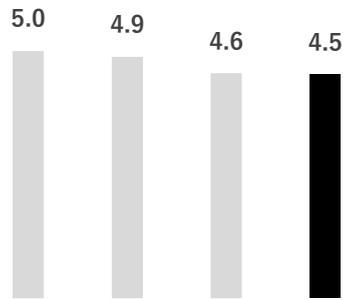
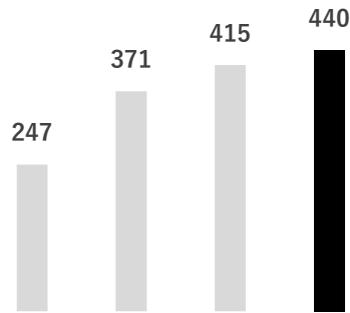
国内店舗数

国内店舗あたり
スタイリスト数

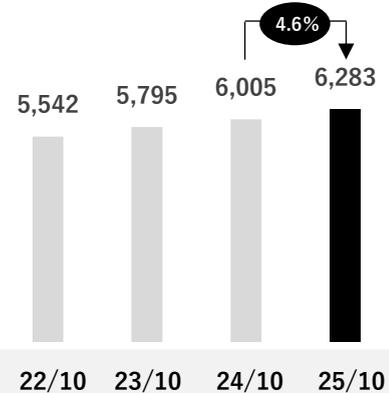
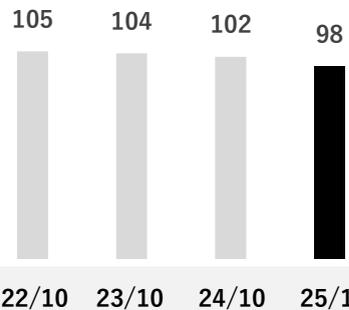
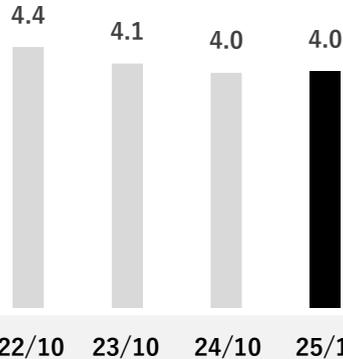
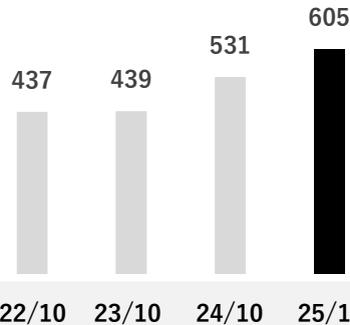
スタイリストあたり
顧客数

顧客単価

直営



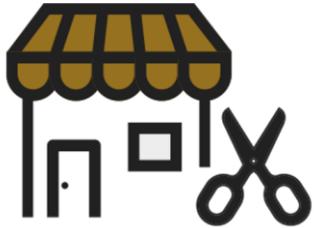
FC



事業セグメント

美容室運営 THE SALON Agu. 等

直営美容室運営 事業



直営店舗の運営

フランチャイズ 事業



FC店舗の
運営サポート

店舗内装のデザイン・工事

インテリアデザイン 事業



美容室を中心とした
店舗デザイン、設計、施工

セグメント概況（前年同期比）

直営美容室運営事業：売上収益は新規出店により増加傾向だが、各種コストの緩やかな上昇によりセグメント利益は減益

フランチャイズ事業：販管費の伸びが若干大きいものの、堅調に推移

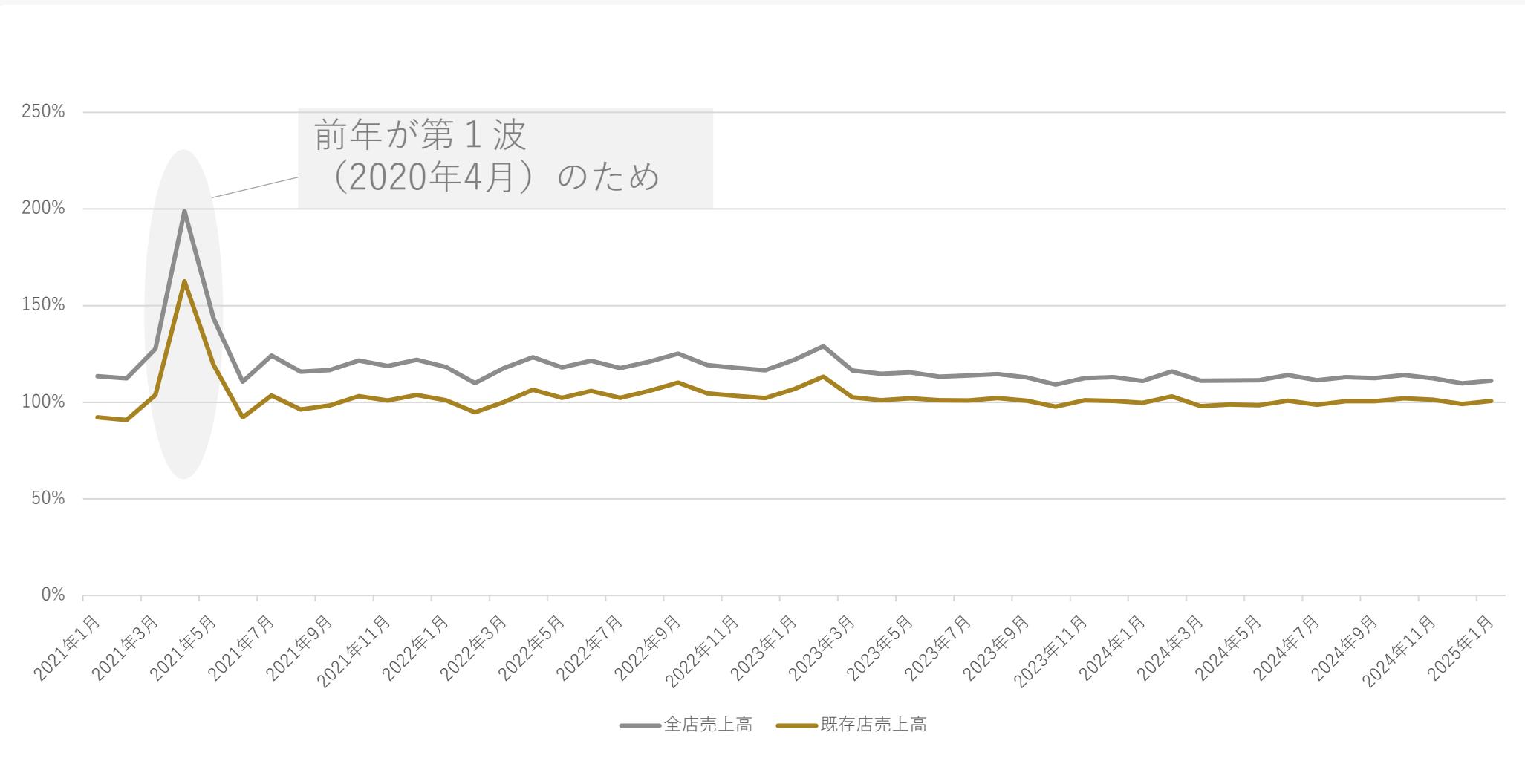
インテリアデザイン事業：売上収益は概ね前年並みだが、売上総利益率が低下

	直営美容室運営事業			フランチャイズ事業			インテリアデザイン事業		
	1Q			1Q			1Q		
	2024/10期	2025/10期	増減	2024/10期	2025/10期	増減	2024/10期	2025/10期	増減
売上収益	3,498	3,695	5.6%	627	699	11.5%	523	519	▲0.8%
外部売上	3,498	3,695	5.6%	367	429	16.8%	324	410	26.6%
売上原価	2,080	2,204	5.9%	47	51	8.5%	401	408	1.9%
売上総利益	1,417	1,490	5.2%	579	648	11.8%	122	110	▲9.6%
売上総利益率	40.5%	40.3%	▲0.2	92.4%	92.6%	0.2	23.4%	21.3%	▲2.1
販管費	1,447	1,557	7.5%	336	388	15.5%	98	103	4.8%
その他収益	5	36	529.5%	9	6	▲32.4%	0	3	414.8%
その他費用	2	3	8.0%	0	0	-	0	0	-
セグメント利益	▲27	▲33	-	252	266	5.5%	24	10	▲58.3%
セグメント利益率	▲0.8%	▲0.9%	▲0.1	40.2%	38.0%	▲2.2	4.6%	2.0%	▲2.7
【参考】 経営指導料調整後利益	93	94	1.7%	359	386	7.3%	-	-	-

全店・既存店 店舗売上高（前年同月対比）

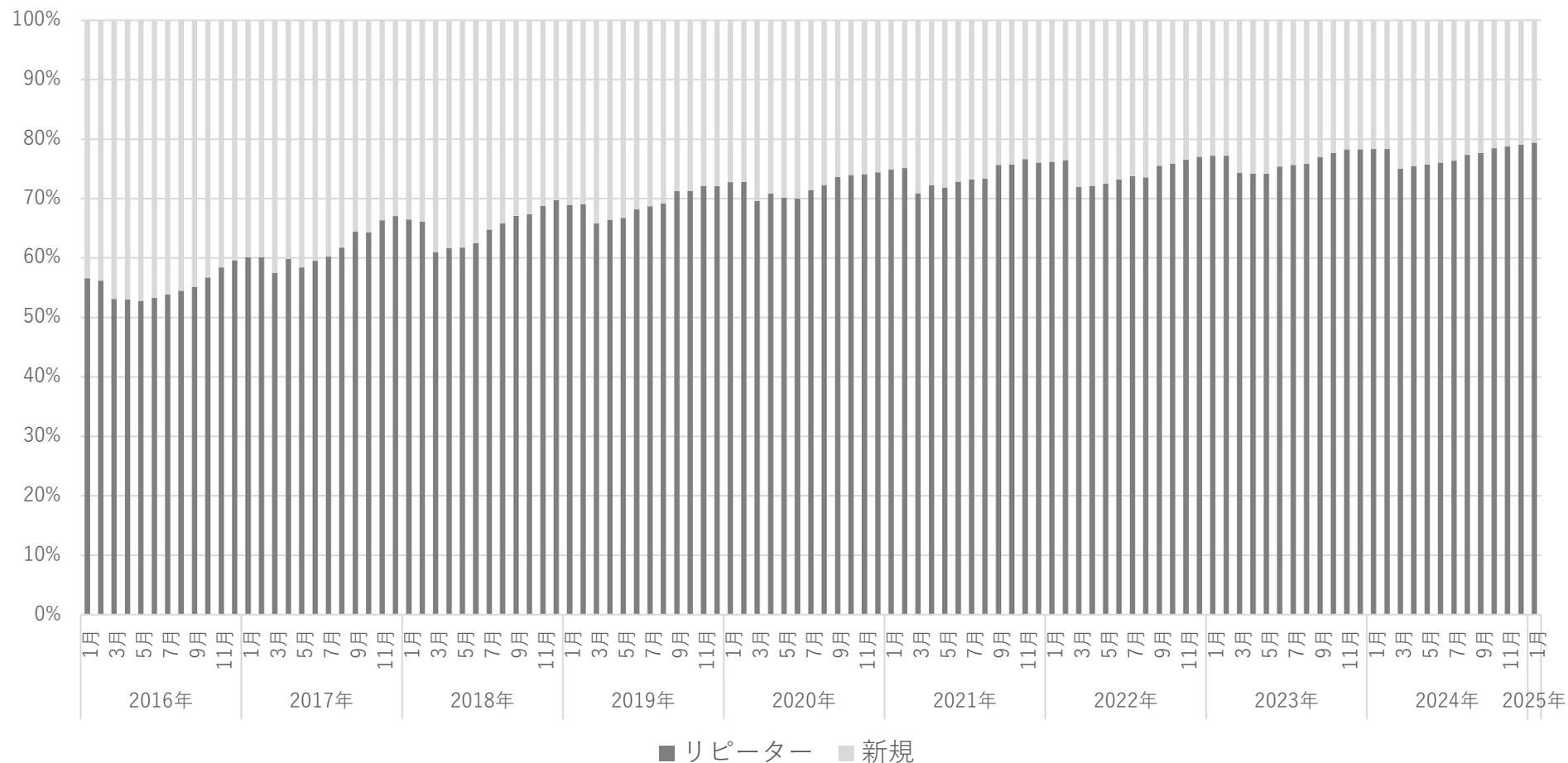
全店売上高：110%前後で推移

既存店売上高：100%前後で推移



リピーター比率

継続的にリピーターは積み上がっている状況



※リピーターの定義は「6か月以内に再来店した顧客」

BS概況 (IFRS)

(金額単位：百万円)

	2024/10 期末	2025/10 1Q	増減
現金及び現金同等物	2,241	2,020	▲ 220
営業債権及びその他の債権	1,086	1,061	▲ 24
棚卸資産	176	228	52
その他の流動資産	521	485	▲ 35
流動資産合計	4,025	3,796	▲ 229
有形固定資産	1,574	1,547	▲ 27
使用権資産	4,917	4,815	▲ 102
のれん	8,488	8,488	0
無形資産	4,410	4,399	▲ 11
その他の金融資産	637	642	4
繰延税金資産	639	639	0
その他の非流動資産	53	52	▲ 1
非流動資産合計	20,722	20,584	▲ 137
資産合計	24,747	24,381	▲ 366

	2024/10 期末	2025/10 1Q	増減
営業債務及びその他の債務	1,126	1,045	▲ 81
契約負債	79	47	▲ 31
借入金	1,936	2,443	506
リース負債	1,533	1,534	1
未払法人所得税等	246	77	▲ 169
その他の流動負債	666	542	▲ 123
流動負債合計	5,589	5,690	100
借入金	5,264	5,079	▲ 185
リース負債	3,301	3,188	▲ 113
引当金	838	854	15
繰延税金負債	1,280	1,281	0
非流動負債合計	10,686	10,402	▲ 283
負債合計	16,275	16,092	▲ 182
資本金	195	195	0
資本剰余金	5,002	5,002	0
利益剰余金	4,252	4,068	▲ 184
自己株式	▲ 995	▲ 995	0
その他の資本の構成要素	17	17	0
親会社の所有者に帰属する持分合計	8,472	8,288	▲ 183
資本合計	8,472	8,288	▲ 183
負債及び資本合計	24,747	24,381	▲ 366

親会社の所有者に帰属する四半期利益による増加：212百万円
に対し、配当に伴う減少：397百万円

※IFRSを採用していることから、将来に渡って支払う予定の家賃を物件の使用権利とみなし、「使用権資産」（資産側）、「リース負債」（負債側）としてBSに計上されている

キャッシュフロー計算書

(金額単位：百万円)

	2024年10月期 1Q	2025年10月期 1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期利益	294	322
減価償却費及び償却費	536	575
営業債権及びその他の債権の増減	57	24
法人所得税の支払額	▲ 405	▲ 258
その他	281	▲ 304
	764	360
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	▲ 232	▲ 77
無形資産の取得による支出	▲ 1	▲ 1
差入保証金の差入による支出	▲ 19	▲ 11
その他	▲ 6	21
	▲ 260	▲ 68
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の純増減額	1,231	315
リース負債の返済による支出	▲ 392	▲ 430
支払配当金	▲ 422	▲ 397
株式の発行による収入	0	0
自己株式の取得による支出	▲ 884	0
その他	▲ 16	0
	▲ 484	▲ 512

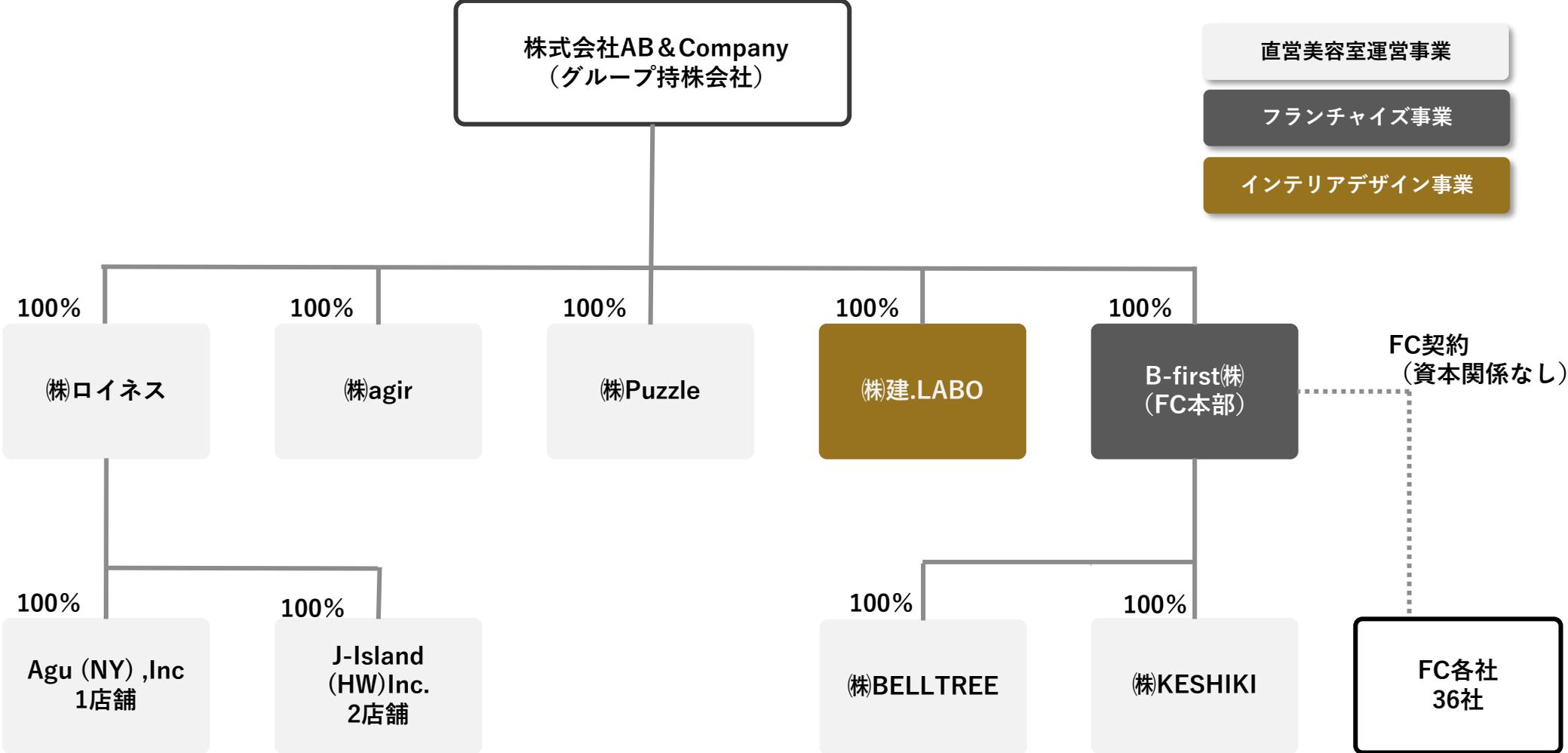
IFRS会計基準適用による留意点

- ▶ IFRS基準では実質的な家賃（使用権資産の償却）が減価償却費に含まれている
(2025年10月期1Qの実質家賃：403百万円)
- ▶ 実質的な家賃支払いに伴うキャッシュアウトは「リース負債の返済による支出」として計上されている

- ▶ 自己株式取得実行（2023年12月）により、支払配当金が前年比減少している

APPENDIX

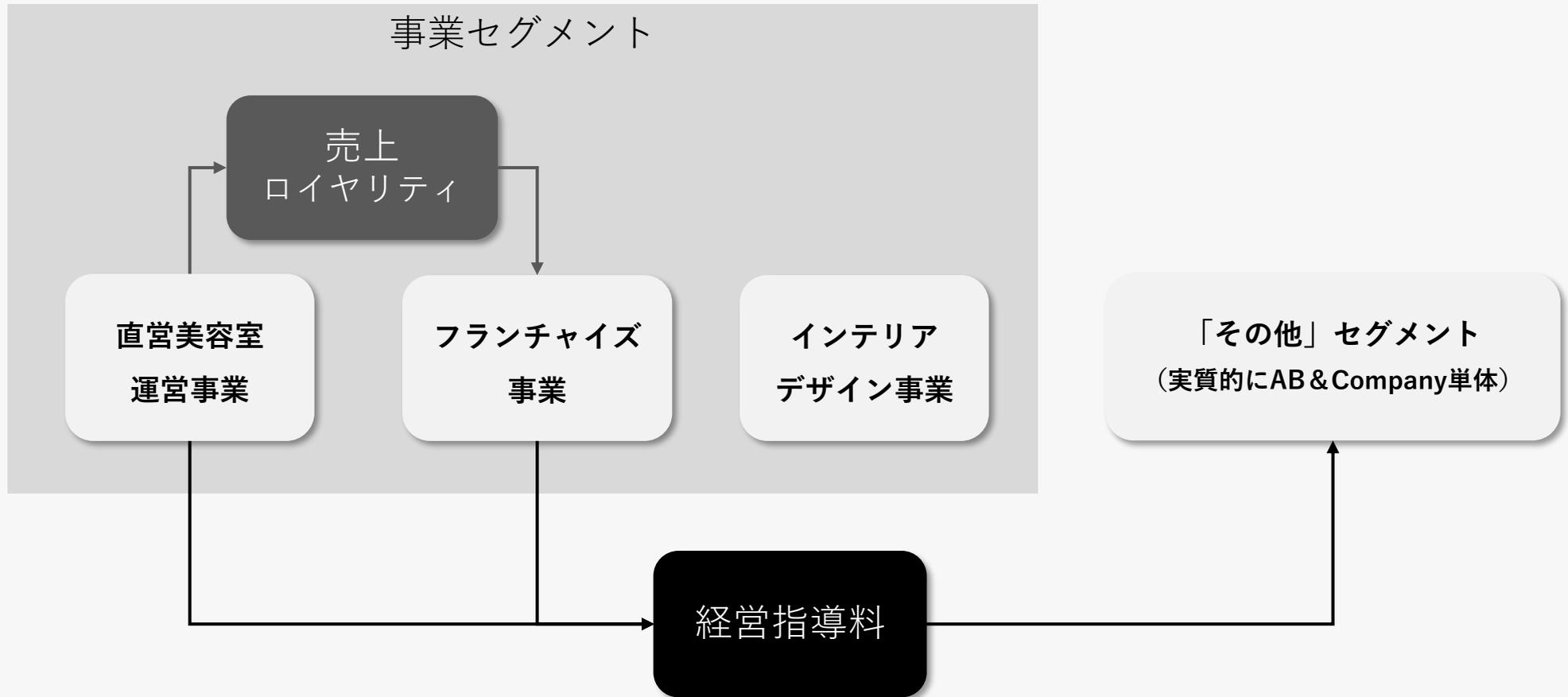
AB & Companyグループ構成図



【参考】セグメント構造

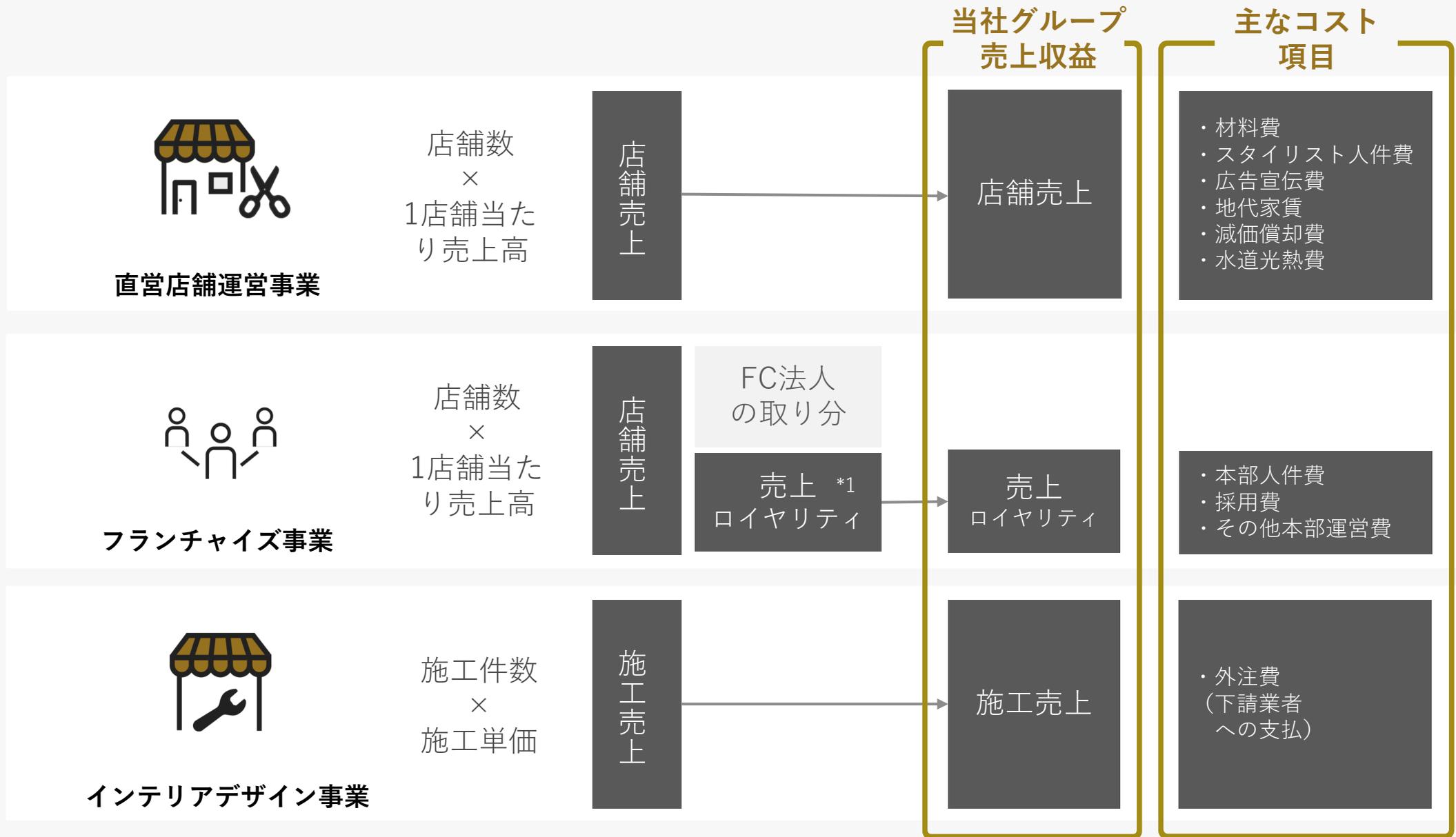
*1

直営美容室運営事業からフランチャイズ事業に売上ロイヤリティを、また、それらの2事業から「その他」セグメントに経営指導料を支払っている



*1 連結グループ内取引であるため、連結ベースでの財務数値には影響を与えない

セグメント毎の収益モデル



*1 フランチャイズ事業の売上収益は売上ロイヤリティに加え、「その他収入」（仕入代行・記帳代行・POSリース・スタイリスト採用代行等。概ね店舗数と連動）で構成される